



Antenna House PDFtoCells変換ライブラリ V1.1

2007年度上半期営業報告

今期は営業成績が非常に良く、5つの支店で目標額を上回ることができた。これはキャンペーンの効果と思われる。顧客の対応については担当者が顧客のニーズが隠れている面がある中で情報共有を行い、迅速に対応することで、上半期に行ったキャンペーンは事半功倍に貢献し、期間や費用をかけているが、それに見合うような効果が現れているように思う。このため、下半期についても同様のキャンペーンを継続して行ってきたい。

支店	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
A支店	¥4,569,201	¥2,356,912	¥3,265,894	¥2,356,904	¥4,266,325	¥4,213,698	¥21,029,000
B支店	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥1,500,000	¥9,000,000
C支店	¥4,000,000	¥4,000,000	¥4,000,000	¥4,000,000	¥4,000,000	¥4,000,000	¥24,000,000
D支店	¥4,653,289	¥4,879,652	¥4,521,365	¥4,212,365	¥3,969,745	¥4,012,367	¥25,848,368
E支店	¥1,000,000	¥1,000,000	¥1,000,000	¥1,000,000	¥1,000,000	¥1,000,000	¥6,000,000
F支店	¥1,023,569	¥1,236,954	¥1,578,965	¥1,568,034	¥1,900,024	¥1,489,653	¥8,397,199
全体	¥20,768,074	¥20,043,462	¥21,704,020	¥19,914,514	¥21,324,002	¥22,294,457	¥126,048,549

①セル内の文字配置やセルの背景色を変換します。

②文字のフォントをできるだけ近似したフォントに置換して変換します。

③数値の書式を設定して変換します。



お客様のアプリケーションに、PDFからExcel(.xlsx)への変換機能を提供！

『PDFtoCells 変換ライブラリ』は、PDFからExcelへの変換機能を持つ、.NET8対応のクラスライブラリです。



表の書式情報を持たないPDFを解析し、編集可能なExcelへ高精度に変換！

独自技術により、PDF内のテキスト及びグラフィックス情報を分析して、行・列やセルの表書式へ再構成し、再利用可能なExcelに変換します。



豊富なオプション機能で、ページ範囲やページの回転角度を任意に指定！

複数ページを持つPDFから任意のページを指定したり、回転しているページの向きを補正してから、Excelに変換できます。



コマンドライン・インターフェースで、手軽にPDFをExcelに変換！

単純処理や簡単な開発に向いています。処理内容は限定されますが、コマンドとオプションを指定するだけなので、低コストで実装できます。

製品の特長



Antenna House

PDFtoCells変換ライブラリ V1.1

PDFから表の書式を解析

PDFの文字と垂直線・水平線の位置から表の書式を仮定し、Excelのセル・罫線に変換します。

PDFのページ=Excelシート

PDFのページごとにシートを生成し、全体をExcelブック形式に保存します。

任意のページをExcel変換

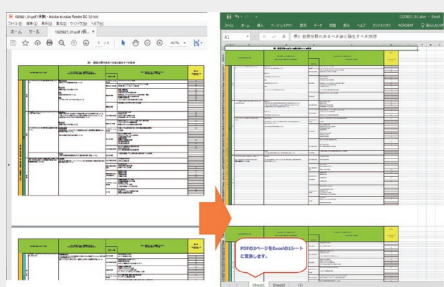
PDFの任意のページ範囲のみを指定してExcelに変換します。

オプション設定で変換条件をさらに細かく指定

オプション設定ファイル(xml形式)で、以下の変換条件を指定できます。

1 PDFで表が複数ページに跨る

Excelで1シートにまとめて変換※

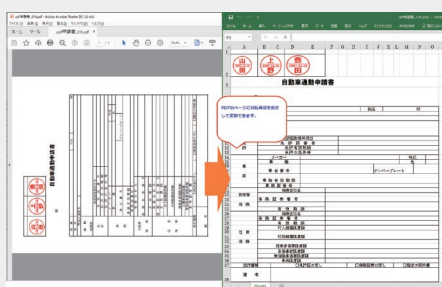


出典:文部科学省ホームページ

※一定の条件を満たす必要があります。

2 PDFに回転したページがある

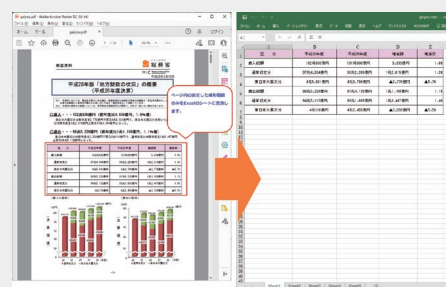
任意のページ範囲に回転角度を指定※



※指定できる回転角度(90°単位)

3 ページ内の矩形範囲を変換

任意の矩形範囲だけを变換※



出典:総務省ホームページ

※指定の矩形範囲をトリミングして変換します。

セキュリティ付PDFにも対応

セキュリティで保護されたPDFも、解除パスワードを指定すれば変換できます。

システムへの組み込みが容易

.NETインタフェースで、アプリケーションにPDFからExcelへの変換機能を組み込んで利用できます。

コマンドラインで簡単変換!

夜間のバッチ処理など、PDFからExcelへの変換機能を効率的に利用できます。

動作環境

- 対応OS(日本語)
 - ・ Windows 10(64ビット版)
 - ・ Windows 11
 - ・ Windows Server 2022

ランタイム

本ライブラリを使用するには、以下の.NETランタイムとVisual C++ 2022ランタイムライブラリが必要です。

- ・ Windows Desktop Runtime 8.0
- ・ Microsoft Visual C++ 2022再頒布可能パッケージ

ライセンス形態

- サーバーライセンス
サーバー上でプログラムを稼働し、ネットワークに接続したクライアントに機能を提供するためのライセンスです。クライアントは、同一企業内部であることが原則です。
- スタンドアロンライセンス
単独のコンピューター上で本製品の機能を利用するためのライセンスです。サーバー上で稼働することはできません。
- デベロッパーライセンス(開発ライセンス)
SI会社やコンサルタント、システムの開発者が、『PDFtoCells 変換ライブラリ』を組み込んだシステム開発、試験等の用途にのみ使うためのライセンスです。実稼働の環境では使用できません。別途、スタンドアロンライセンスまたはサーバーライセンスを購入していただく必要があります。

製品について、詳しい情報はWebでご確認ください。 <https://www.antenna.co.jp/tbl/>

■製品に関するお問い合わせ(土日祝日、年末年始を除く、平日9:30~18:00)

アンテナハウス株式会社 システム営業グループ

TEL : 03-5829-9021 e-mail : sis@antenna.co.jp

インターネットで詳しい情報を提供しています。

<https://www.antenna.co.jp/>



〒103-0004 平日9:00~18:00
東京都中央区東日本橋2-1-6 東日本橋藤和ビル5階
©2024 AntennaHouse, Inc.